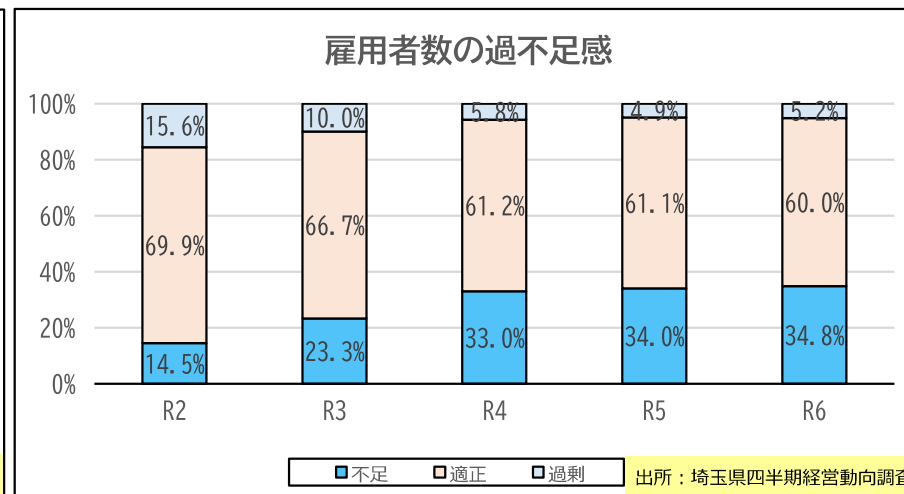
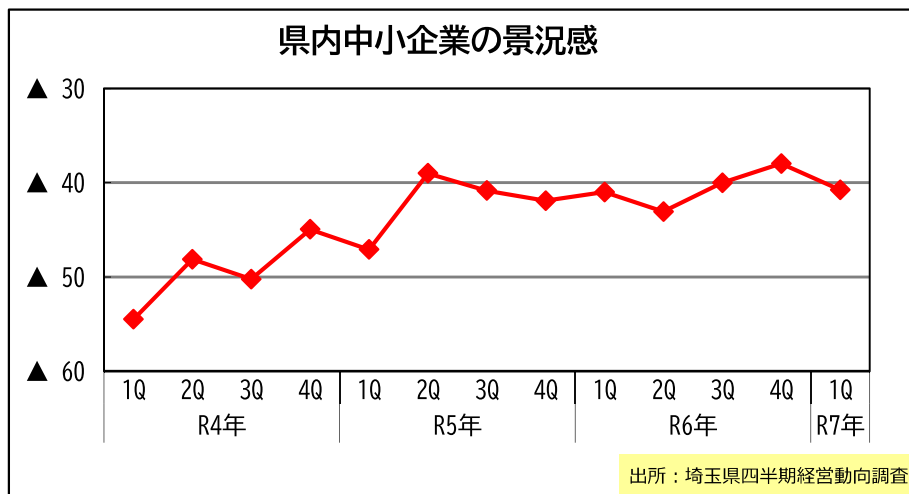
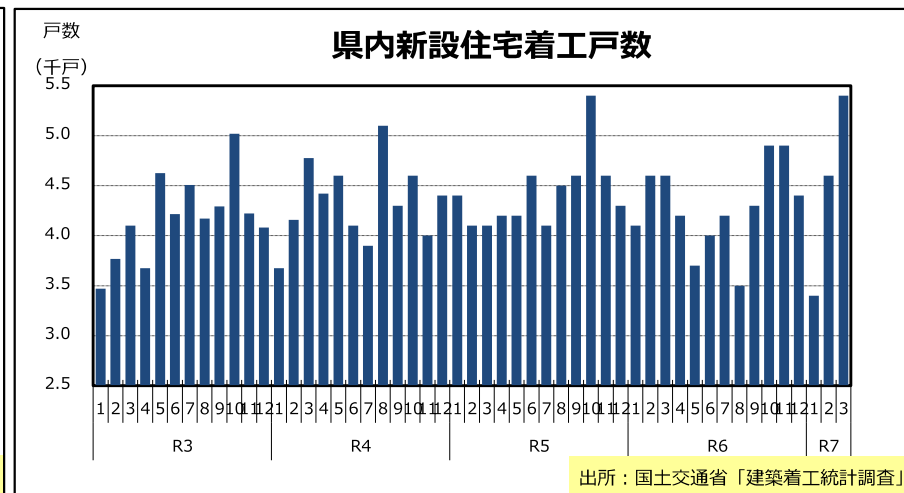
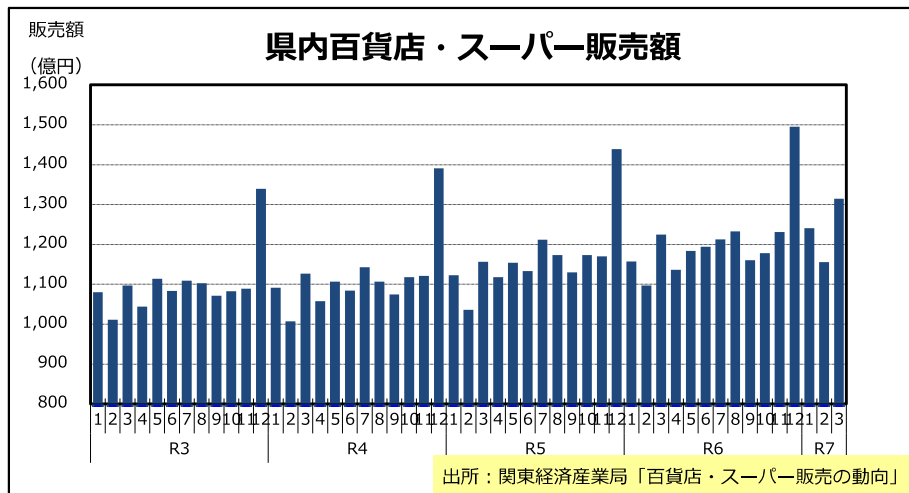


埼玉県経済の現況

① 県内中小企業の現況



② 県民の消費活動の現況



強い経済の構築に向けた埼玉県戦略会議

概要

- 新型コロナと共存できる強い経済を構築するため令和2年5月に全国に先駆けて設置
- 5類移行を契機に、「ポストコロナ時代をオール埼玉で切り拓く戦略的取組」に会議目的を変更
- 令和4年9月に「**価格転嫁の円滑化に関する協定**」を締結し、ワンチーム埼玉で連携した取組を実施
- 喫緊の課題である人手不足に対応するため、「**人手不足対策分科会**」を設置し、集中的に検討

構成13団体

埼玉県	埼玉県経営者協会
関東財務局	埼玉経済同友会
関東経済産業局	埼玉中小企業家同友会
埼玉労働局	連合埼玉
埼玉県商工会議所連合会	埼玉大学
埼玉県商工会連合会	埼玉県銀行協会
埼玉県中小企業団体中央会	



産官金労12者による価格転嫁の円滑化に関する協定（R5.3.30更新時）

価格転嫁の実効性の確保に向けた取組

■ 17金融機関、約4,400名の価格転嫁サポーターと連携した支援情報の発信強化

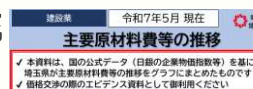
⇒ サポーターの好事例について参画金融機関で共有できる仕組みの構築



価格転嫁サポーターロゴ

■ 価格交渉に役立つ各種支援ツールの機能拡充

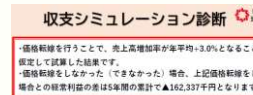
⇒ 「価格交渉支援ツール」の労務費データの拡充や、「収支計画シミュレーター」の簡易版作成により、更に利便性を向上



価格交渉支援ツール

■ 専門家による伴走型支援の拡充

⇒ 1社当たりの支援回数を拡充し、各種支援ツールを活用した、よりきめ細かい支援を実現



収支計画シミュレーター

人手不足対策分科会の設置

- 2024年問題などにより人手不足への対応については喫緊の課題
新たに「**人手不足対策分科会**」を設置し、重点的に検討

価格転嫁の円滑化（部会）

- ✓ 協定締結団体と連携した取組の推進

中小企業の業態転換（部会）

- ✓ DX・サーキュラーエコノミーの推進

適切な人材の育成・確保（部会）

- ✓ 生産年齢人口減少への対応



人手不足対策分科会

- ✓ 人手不足への対応を優先課題として集中的に検討

- I 人材確保
- II 労働の質の向上
- III 生産性向上

埼玉県のすがた ～人口・産業・交通 ポテンシャルが高い～

総人口 **734万人**(全国**5**位)

出典 令和2(2020)年総務省「国勢調査」

- 1 東京都 1,405万人
- 2 神奈川県 924万人
- 3 大阪府 884万人
- 4 愛知県 754万人
- 5 埼玉県 734万人**

県民平均年齢 **46.8歳**(全国**7**位)

出典 令和2(2020)年総務省「国勢調査」

県内企業数

16万356企業(全国**5**位)

出典 令和3(2021)年埼玉県「経済センサス」

県内総生産(名目) **24.7兆円**(全国**5**位)

出典 令和4(2022)年度内閣府「県民経済計算」

- 1 東京都 120.2兆円
- 2 大阪府 43.1兆円
- 3 愛知県 43.1兆円
- 4 神奈川県 35.2兆円
- 5 埼玉県 24.7兆円**



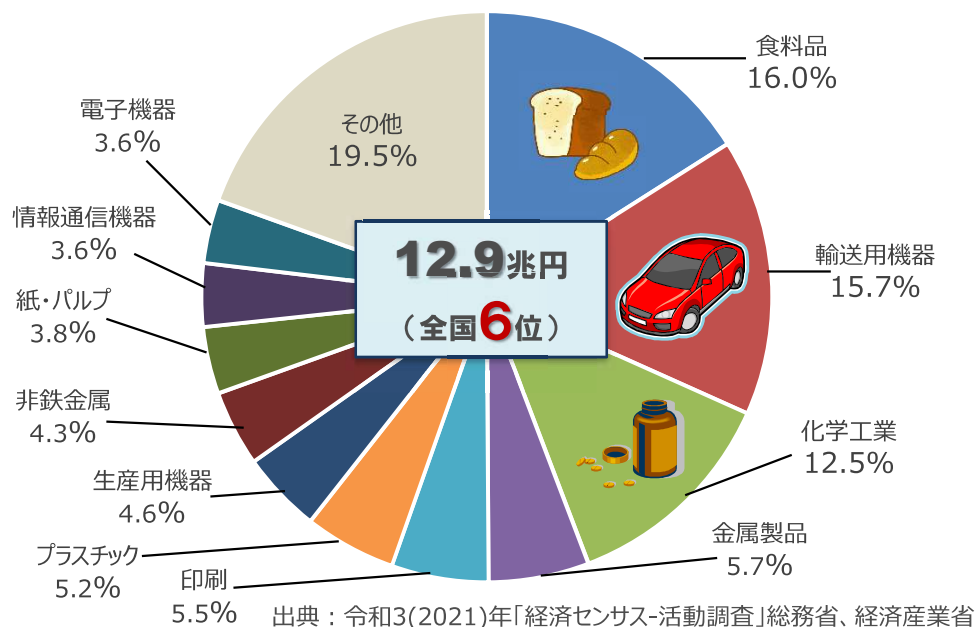
高い交通利便性

- ・東北、上越、更に北海道など6つの新幹線で東日本の主要都市に直結
- ・東日本の大動脈「東北」・「関越」・「常磐」自動車道が南北に縦断
- ・首都圏の高速道路を結ぶ「外環道」・「圏央道」が東西に横断

全国有数の内陸工業県

埼玉県の産業分類別製造品出荷額等の構成比

多種多様な業種が集積



全国有数の工業県

ホンダ、UDトラックスなど
大規模工場とそれをサポートする
中小企業が立地

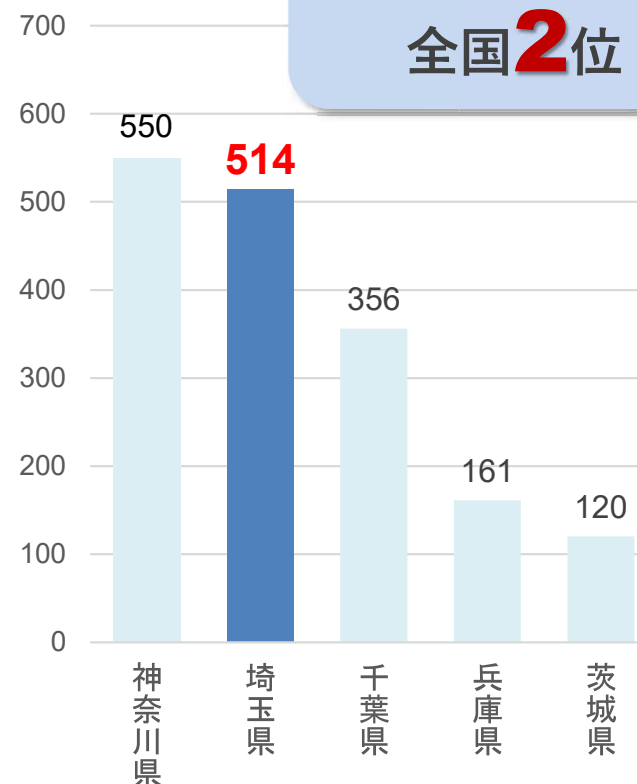
一般インキ 全国1位
化粧水 全国1位

出典：令和3(2021)年「経済センサス-活動調査」総務省、経済産業省

全国の転入・転出企業の状況

2015~2024年
企業本店転入超過数

全国2位



出典 (株)帝国データバンク「埼玉県・本店移転企業調査」

企業誘致の取組実績

平成17(2005)年1月～令和7(2025)年3月

[地域別立地内訳]

立地件数 **1,398件**

投資総額 **約2兆4,082億円**

新規雇用 **42,615人**

税収確保 **約2,017億円**

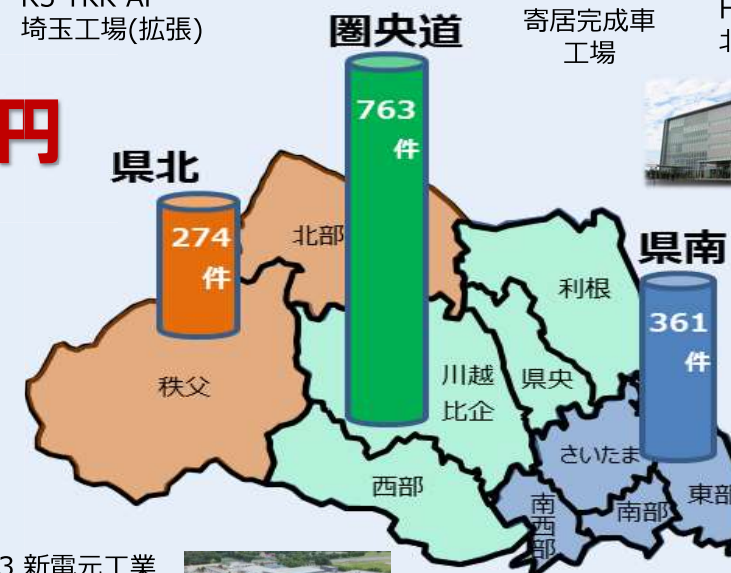


R5 YKK AP
埼玉工場(拡張)



H25 ホンダ
寄居完成車
工場

H24 グリコ
北本工場



R3 新電元工業
朝霞事業所



R1 パルタック
RDC埼玉

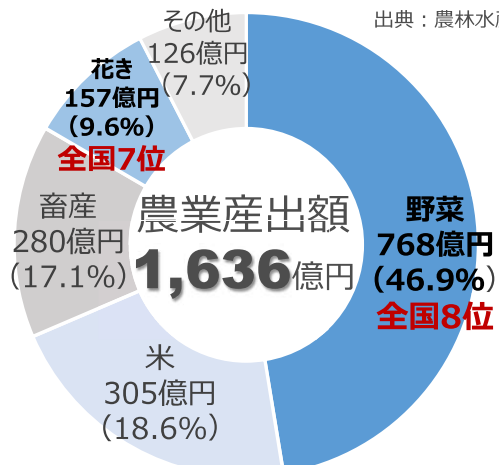


(※「投資総額」及び「新規雇用」は立地企業の計画ベース)

意外な農業県埼玉

埼玉県の農業産出額 (令和5(2023)年)

出典：農林水産省「生産農業所得統計」



※ 表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と計算結果が一致しない場合がある

野菜768億円(全国8位)

品目	産出額	全国順位
ねぎ	151億円	1位
さといも	46億円	1位
ほうれんそう	66億円	2位
こまつな	32億円	2位
かぶ	12億円	2位

花き157億円(全国7位)

品目	産出額	全国順位
パンジー	5億円	1位
ゆり(切り花)	22億円	3位
洋ラン類(鉢)	27億円	6位

小麦13億円(全国7位)

日本酒の出荷量 全国4位

出典：国税庁統計年報
令和4年度版

「日本三大銘茶」の狭山茶
「色は静岡、香りは宇治よ、味は狭山でとどめさす」



埼玉県産農産物の躍進

●埼玉県育成品種のいちご 全国選手権 5連覇

第1回(R5)・第2回(R6)・第3回(R7)

一般社団法人日本野菜ソムリエ協会主催

全国いちご選手権「あまりん」最高金賞・3連覇

第1回(R5)・第2回(R6)

クリスマスいちご選手権「べにたま」最高金賞・2連覇



●埼玉県生産者が栽培した梨 全国選手権 2連覇

第2回(R5)「豊水」最高金賞

第3回(R6)「彩玉(埼玉県育成品種)」最高金賞

●食味ランキング5年連続6回目の最高ランク

埼玉県育成品種米「彩のきずな」特A評価獲得(R7.2)

第75回全国植樹祭

※埼玉県では66年ぶりに開催

- ・全国植樹祭とは、森林・みどりに対する国民的理解を深めることを目的に開催される国土緑化運動の中心的行事。
- ・第75回大会は天皇陛下のご臨席のもと、主会場である秩父ミュージアムパークで開催。
- ・森林資源の活用、木材の利用拡大を図る「活樹」を発信。

大会テーマ 「人・森・川 つなげ未来へ 彩の国」

式典会場 植樹会場 秩父ミュージアムパーク (秩父市・小鹿野町)

サテライト会場 エミテラス所沢 (所沢市)、深谷テラスパーク (深谷市)、モラーシュ葛蒲 (久喜市)



お手植え

●活樹の取組



成長した木の活用

活樹



埼玉観光の魅力

◆ 多彩な観光資源



◆ 都心から約 1 時間というアクセスの良さ



埼玉県は、
観光資源が
いっぱい！

埼玉バーチャル観光大使
春日部つくし さん

埼玉観光の魅力

◆ 東京からの近さを生かしたインバウンド誘致

令和6年 県内外国人訪問者数

約106万人（R1比63%）



● 魅力ある10コンテンツの集中プロモーション

・旅の段階（旅マエ・ナカ・アト）ごとのSNS・Webを活用した情報発信



長瀬ラインくんだり



川島町の醤油蔵での醤油造り体験

● 米国の雑誌掲載を通じた富裕層の誘客

- ・雑誌のライターや編集者を招いたプレスツアー
- ・県内観光事業者との交流会

● 台湾旅行会社の団体旅行商品造成の促進

- ・現地旅行会社を招いた現地視察ツアー・商談会

◆ 本県の強みを生かした観光プロモーション

- ・地酒、ワイン、ビールなど埼玉の「酒」を活用した周遊促進
- ・アウトドアスポーツと組み合わせた広域PR
- ・アニメ・V T u b e rを活用した情報発信



埼玉観光サポーター「クレヨンしんちゃん」
©U/F・S・A・A

埼玉県5か年計画 ～日本一暮らしやすい埼玉へ～



埼玉県マスコット
「コバトン」「さいたまっち」

時代の潮流

(本県が置かれている社会経済情勢や時代の流れ)

目指す3つの将来像 ～2040年を見据えて～

将来像① 安心・安全の追究
Resilience(レジリエンス)

将来像② 誰もが輝く社会
Empowerment(エンパワメント)

将来像③ 持続可能な成長
Sustainability(サステナビリティ)

12の針路

将来像の実現に向けて、
時代の潮流に的確に対応する
ための方向性

54の分野別施策

針路ごとに取り組むべき施策

106指標

地域別施策

各地域の特性を
踏まえて
取り組む施策

将来像の実現に向けた基本姿勢
全施策を貫く横断的な視点

【埼玉版SDGsの推進】
【新たな社会に向けた変革～DXの推進～】

重点的に取り組んでいる課題

2つの歴史的課題に対して、持続可能で活力ある埼玉を次世代へ引き継ぐ使命を果たすため、未来志向の中長期的な施策を重点的に取り組んでいく。

① 人口減少・超少子高齢社会への対応

- ・埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進
- ・将来の県経済をけん引する人材や企業の育成・創出
- ・こどもまんなか社会の実現に向けた取組 等



こども食堂の様子

② 激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応

- ・埼玉版FEMAの充実
- ・自然災害・新たな感染症への対応 等



九都県市合同防災訓練

「渋沢 MIX」の開設

令和 7 年 7 月 2 5 日開設

出会い、つながり、共創する

「渋沢 MIX」

シ ブ サ ワ ミ ッ ク ス

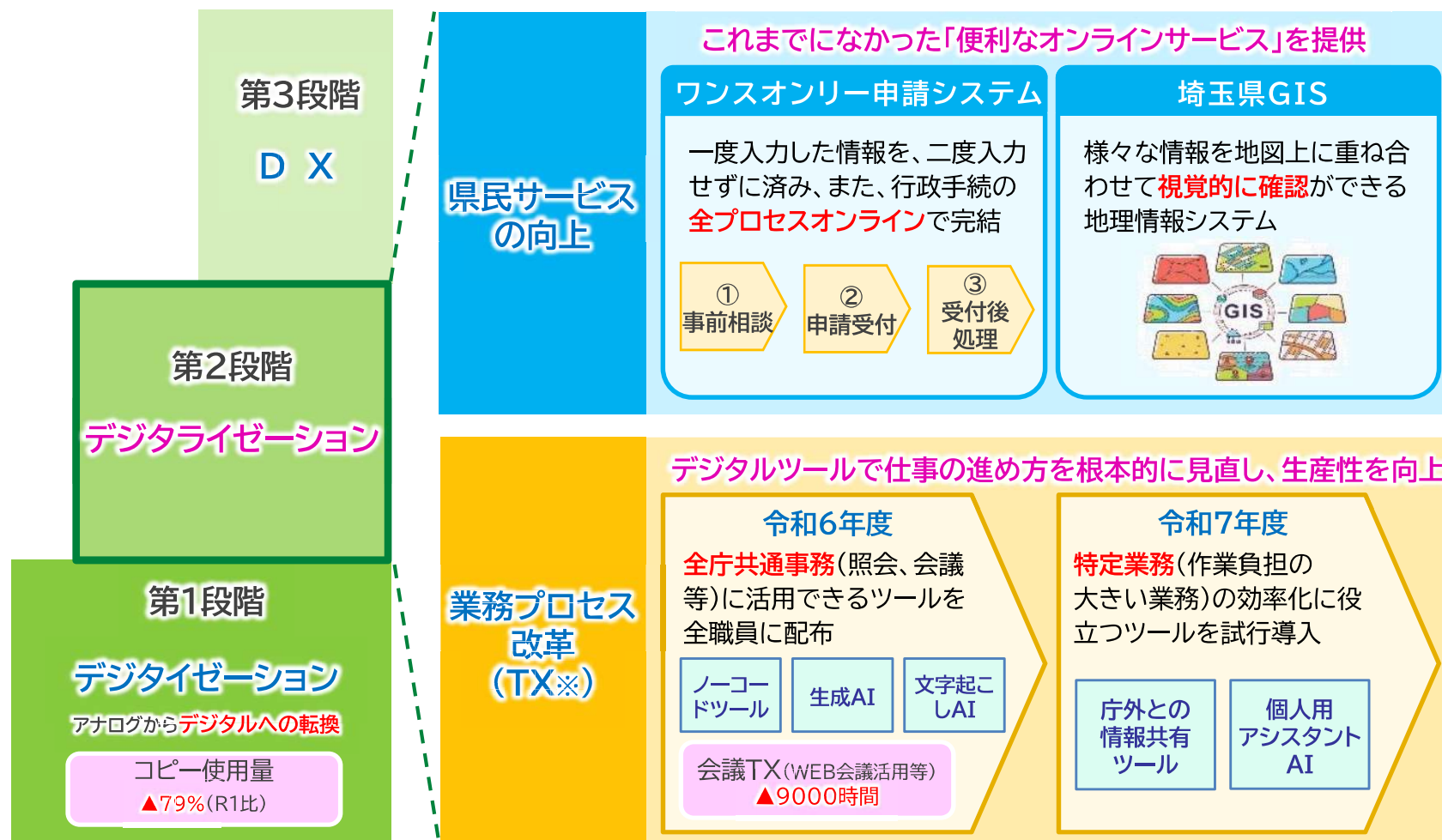
○ コンセプト

- ① オープンイノベーションの創出・促進
- ② スタートアップの創出・成長支援
- ③ イノベーションを担う人材の育成



更なるDXの推進による県民サービスと生産性の向上

DX実現への3ステップ



※ TX(タスク・トランスフォーメーション):デジタルツールを用いて業務プロセスを変革し、職員の力を人にしかできない創造的な仕事に振り向けていく取組

中小企業のDX推進



DX推進支援ネットワークを軸とした支援

国や県、経済団体、金融機関、支援機関等の27団体が相互に連携するネットワークが一体となって県内企業を支援し、DXを推進



これまでの取組

■ 無料相談・マッチング等による支援

- ・専任の相談員「DXコンシェルジュ」による無料相談
- ・解決策を提案できる「埼玉DXパートナー」とのマッチング
- ・DX推進のための事業計画の策定等、事業者のデジタル化のステージに応じたきめ細かい支援

■ 優れたDXの取組の表彰・横展開

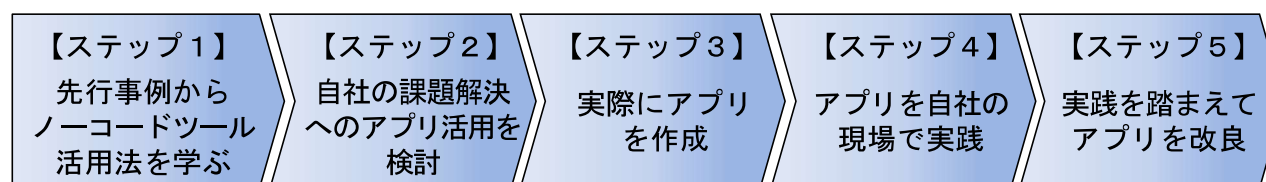
- ・「埼玉DX大賞」の開催
- ・「DX推進ポータルサイト」による情報発信



令和7年度における新たな取組

■ ノーコードツール活用によるDX促進を支援

事業者におけるノーコードツール活用を促進するための実践型ワークショップを実施



埼玉版スーパー・シティプロジェクト

人口減少、超少子・高齢社会の到来 ▶ 誰ひとり取り残さない、持続可能な社会の構築

コンパクト、スマート、レジリエントを兼ね備えたまちづくり



コンパクト

医療、福祉、交流等の複合拠点整備、歩いて暮らせるまち

スマート

生活利便性を高めるMaaSやデマンド交通の提供

レジリエント

再生可能エネルギー等を活用し、災害にも強いまち

プロジェクトに取り組む市町村
R6年度末 56団体